

「STOP！ヒートショック®」 ヒートショック対策啓発プロジェクトに参画

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:大桃満)は、社会課題のひとつとして認識されている「ヒートショック」の正しい理解の浸透と対策を呼び掛けるため、理念を共にする複数企業による共同プロジェクトである「STOP！ヒートショック®」プロジェクト活動に今年も参画いたします。

今年も「STOP！ヒートショック®」プロジェクトは、ヒートショックに関する正しい理解と対策方法を社会に広め、一人でも多くの方にリスクを回避していただけるよう、企業協働で推進する社会貢献型啓発活動を開始いたしました。

本プロジェクト活動を通じ、ヒートショックに関する正しい知識の普及に努めるだけでなく、安心・安全な暮らしに役立つ情報を発信しています。また、ヒートショック対策のポイントである温度のバリアフリー化の具体的な対策アクションとして、浴室や脱衣室への暖房提案などを行ってまいります。



■今期の主な活動

活動期間:2023年10月2日(月)~2024年2月29日(木)

■今期の主な取り組み

1. 公式アンバサダーに介護芸人のレギュラーが就任！

2023年度は、介護芸人として活躍し、“あるある探検隊”でお馴染みの吉本興業お笑いコンビ「レギュラー」が初代公式アンバサダーに就任し、ヒートショック対策のポイントを楽しく、わかりやすくお伝えします。

2. オリジナル動画シリーズ「STOP！ヒートショックあるある劇場」を公開

本プロジェクトの開始にあわせて、ヒートショックの理解促進を目的に、動画シリーズ「STOP！ヒートショックあるある劇場」を公開します。

【公式ホームページURL】 <https://heatshock.jp/>

【本件に関するお問合せ先】 株式会社コロナ <http://www.corona.co.jp/>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256(32)2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

●報道機関からのお問合せ先 株式会社コロナ 総合企画部広報室

●お客様からのお問合せ先 株式会社コロナ 営業本部

動画では、ヒートショックにまつわるレギュラーのオリジナルネタや医師のアドバイスを通じて、日常生活におけるヒートショックの注意点や対策ポイントを年代問わず楽しく、わかりやすく学ぶことができます。

動画は公式ウェブサイトや公式SNS等から定期配信するほか、動画へのアクセス二次元コードや対策のポイントを記載したポスターやチラシを首都圏の病院や自治体窓口等に設置します。

ポスターデザイン ※デザインは制作中のもので、内容は変更になる可能性があります。



3. ヒートショックリポストキャンペーンを実施予定

参加いただいた方の中から抽選でプレゼントが当たるSTOP！ヒートショック公式 X(旧Twitter)にてフォロー&リポストキャンペーンを実施予定。詳細はSNS等で発信してまいります。

<実施予定内容>

冬場のおうちやお風呂での”あるある”をリポストして応募。抽選でデジタルギフトやグッズなどをプレゼントいたします。

※内容は予定のものとなり、変更となる可能性があります。

詳細は下記アカウントでお知らせします。

STOP！ヒートショック公式 X(旧Twitter)アカウント(プカ太郎) @SHSPJ_official

4. 各協賛企業の取り組み

プロジェクト主体の活動と並行して、協賛企業ごとに、それぞれのオウンドメディアやイベント、展示会、プロモーション、プロジェクトサイトのダウンロードツールなどを通してヒートショック情報を提供し、啓発活動とあわせて対策に役立つ具体的なソリューションの提案を行います。

「STOP！ヒートショック」プロジェクトは、協賛企業・協賛団体・協力企業が一体となり、ヒートショックのリスクを回避しつつ、住みやすい・暮らしやすい環境づくり＝安心した暮らしづくりを目指して邁進します。

■ヒートショックとは？

ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動などの温度の急な変化が体に与えるショックのことです。ヒートショックが原因となる死亡事故に限りませんが、近年では入浴中に急死した方が「交通事故」による死亡者数よりも多くなっています。^{*1}

また、入浴事故と血圧の変動は深く関係していると言われています。特に、高齢者は血圧変化を起こしやすく、体温の調節機能も低下しがちなことから、注意が必要です。^{*2}

ヒートショックという言葉自体の認知は約9割^{*3}と進んでおりますが、対策を実行している人については約3割の理解^{*3}と十分に対策されていないというのが現状で、超高齢社会に突入した日本にとって今後対応が必要とされるテーマのひとつであると言えます。

*1 消費者庁ニュースリリース「冬季に多発する高齢者の入浴中の事故にご注意ください！」(2020年11月19日)

*2 東京都健康長寿医療センター 研究所「入浴時の温度管理に注意してヒートショックを防止しましょう」(2014年9月)

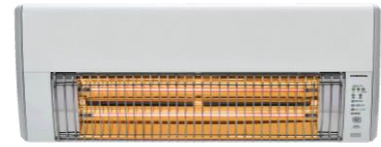
*3 「STOP！ヒートショック」プロジェクト (インターネット調査 2023年3月)

【参考情報】

■遠赤外線電気暖房機「ウォールヒート」

ウォールヒートは、おふろの脱衣所やトイレ等、「寒いけれど暖房機を置くには・・・」と思っていた場所にお使いいただける壁掛けタイプの暖房機です。本体サイズは、新聞紙1面の約1/2(幅525×高さ204×奥行き178mm)とコンパクト。遠赤外線カーボンヒーターを採用しており、スイッチオンと同時にすばやく運転し、輻射熱と温風で身体をあたためます。人感センサーを用いた自動運転も可能で、湯上り時には浴室から出てきた瞬間に運転し、急激な温度変化を低減します。

<https://www.corona.co.jp/heating/wallheat/>



「ウォールヒート」

■自然対流形電気暖房機「NOILHEAT(ノイルヒート)」

NOILHEATは、独自の高密着アルミダイキャスト式【FIXAL(フィクサル)ヒーター】を搭載した“オイルレスヒーター”です。

【FIXALヒーター】を搭載することで、素早い立ち上がりと軽量化を実現。温風を出さない構造のため乾燥しにくく、ハウスダストの巻き上げを抑えるため、寝室など空気の質が気になる場所での使用にぴったりです。また、多彩なタイマー機能を搭載しており、あらかじめお部屋を暖めておくことも可能です。フットライトのように本体周囲をやさしく照らす「フロアLED」を搭載し、夜間や就寝時の安全性にもこだわりました。

<https://www.corona.co.jp/heating/noilheat/>



「NOILHEAT(ノイルヒート)」